

様式6号-1 **3枚提出**

部 長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	主 任	受 付

結 果 届 **No. 1** 提出日 平成29年 10月7日 (土)

専修大学体育会バスケットボール部(女子)		◎ 同好会
監 督	児玉 茂	印
主 務	菊池 咲良	印

正式大会名	第67回関東大学女子バスケットボールリーグ戦				
参加校数	87	団体・校	参加者数	2000	人

※参加校数・参加者数の記入は必須

10月7日 (土)	会場：白鷗大学	天候：晴れ												
第1試合 11:00~														
専修大学 80	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>24</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>5</td></tr> </table>	20	-	19	18	-	24	22	-	21	20	-	5	69 松蔭大学
20	-	19												
18	-	24												
22	-	21												
20	-	5												
		【寸評】												
		第1ピリオド、開始早々、専修#27 小笠原が3pを決めると松蔭大#13 小林も3pを決め返しお互い一臂譲らない展開に。序盤松蔭大#11 加藤、#15 奥の3pによりリズムをつかまれるが専修#3 渡部の3pや、#12 田口のブレイクにより一気に追い上げ逆転成功。20-19と専修が一歩リードし第1ピリオド終了。第2ピリオド、開始早々またもや専修#28 小笠原が3pを決め、#3 渡部の強気なドライブにより得点する。しかし負けてない松蔭大は#14 横山、#11 加藤の連続3pにより得点され43-38でリードされ前半終了。												
		第3ピリオドそのまま相手に流れを持っていかれ、#11 加藤、#15 奥の得点により12点のリードを許す。負けたくない専修大は#3 渡部のドライブやスティールにより流れをつかみ差を2点にまで縮め64-60で最終ピリオドへ。第4ピリオド、専修大#12 田口のバスケットカウント、#27 小笠原の力強いプレーにより同点にすると#59 秋元のキレのあるドライブにより逆転に成功。一方松蔭大はアウトサイドシュートが決まらず得点ができない。最後専修#34 千葉がブザービートを決め80-69で専修大が白星を飾った。												
出場	番号	名前(学部学年)	P	F	T									
◎	12	田口 明佳莉(LZ4)	13	0	24									
	1	渡部 真衣(LZ1)												
○	3	渡部 友里奈(LZ3)	21	3	38									
	5	石垣 加代(M1)												
○	6	近藤 久恵(M4)	4	0	13									
	7	村岡 美英(M4)												
	11	河村 美侑(LA1)												
	15	清田 陽香(LR3)												
	16	飯岡 花玲(CM3)												
○	18	石川 裕実(LZ4)	6	3	9									
	21	寺田 百(NE3)												
○	27	小笠原 美奈(M2)	19	4	35									
	28	小木 爽加(CM2)												
	31	熊倉 菜々子(E2)												
	32	池ヶ谷 優香(M2)												
○	34	千葉 歩(E3)	4	3	28									
○	35	岡部 真季(CM3)	2	1	15									
○	59	秋元 文香(LZ1)	11	4	35									
	66	二上 奈央(M1)												
			P…得点											
			F…ファール											
			T…出場時間											

(注) この届は、永久保存となるため正確に記入し、プログラム等の関係資料とともに、試合終了後3日以内に体育事務課に提出すること。
 ただし団体競技は、最後に総合順位及び勝敗数、勝率、勝点、個人表彰等も記入すること。
 例) 1位：専修大学 ○勝○敗 ○○点、2位：○○大学 ○勝○敗 ○○点・・・
 記入欄が足りない場合には、様式6号-2 に記入して提出すること。それぞれ**3枚提出**すること。